



1月20日は大寒の入りで、2月4日の立春まで暦の上では最も寒い時期を迎えました。大学入学共通テスト（自分が高校生の頃は共通一次試験と言っていました。）を終え二次試験の時期です。今迄頑張って来た力を発揮され「合格！」を手に入れましょう。

## 自転車登下校時の安全走行について考えてみよう！ 相模原地区交通安全対策会議が開催されました。

1月20日（土）に相模原地区協議会の交通安全対策会議が開催されました。県立高校では、およそ半数以上の生徒が自転車を利用して通学しています。本校からは会長と交通安全委員会が出席し、本年度各校の活動と取組みについて討議され、活発な意見交換がされました。各校とも年2回の交通安全指導、自転車点検、スクエアドストレイトが実施されていました。活動報告の中で討議された事項は次の通りです。

1. セーフティカードについて。紛失したり、携行忘れがあるのではないかの質疑がありました。

自転車にステッカーにして貼る形にしている。生徒手帳に記載している。バーコードにしてスマホで読み取ると順序立てて、万が一の時に取る行動が見られる様にしている。など各校の取組みが紹介されました。

2. 自転車用ヘルメットの登校後保管場所と空気入れの設置について質疑がありました。

単位制でない学校は教室内ロッカーに入れる。でしたが、専用のロッカーを用意した学校もありました。また、空気入れについては事務所で管理、駐輪場に設置していると意見が出されました。

ヘルメットの着用率が低い事に関して、ヘルメットは倒れた時に頭部損傷から守るだけでは無く、車の運転者に対して自転車走行者を気付かせるアイテムでもあり、着用の意味は大きいと意見が出されました。

3. 交通安全教育の実施について質疑が出されました。

カリキュラムとしての取組みは無く、交通安全指導の時にリーフレット等を配布する、スクエアドストレイト実施時に警察の講和を聴く等であった。

4. 事故の実態およびPTAへの報告について。

殆どの学校では、学校側で把握に留まりPTAの場で報告された例は無かったと意見がありました。

(PTAの場で問題となる程の事故は無かったと思われます。)

登校時の自転車走行で一時停止不履行や交差点斜め横断、並列走行、信号変わり目の強引な走行でヒヤットした事例が紹介され、気付いた時は学校に連絡するべきか質疑が出されました。

保護者側委員より、基本的に自転車による登校手段は生徒側が選択されていることから個々の問題であると思われると意見が出されました。一方学校側からは注意すべき事項は生徒全体で捉える事案として注意喚起をさせていただくとの意見が出されました。双方の意見によりPTAとして交通安全指導と家庭での対話により意識の定着を図って行きたいとの意見で纏まりました。

5. 駐輪場照明設備について日没が早いこの時期は特に駐輪場の照度が低く太陽光パネル付きの照明設備導入は出来ないかと質疑が出されました。学校と相談するしかないと思われるが、まなびや基金の活用も視野に入れて検討されてはと意見が出ました。

以上の様に登下校時の交通安全について討議されました。正直私も会長になる前は、「もう高校生だろ自転車運転マナーとか知ってるだろ何で今更小学生じゃあるまいし！」と思っていました。交通安全を維持する大切さは、個人だけの問題ではなく情報を共有し啓発する地道な努力が重要であると痛切に感じました。是非ご家庭でも事故を起こさないために！事故に合わないために！を話し合ってみて下さい。